

マニュアルだけでなく技術を

JBNポリテク 見習い大工育成研修会

北海道職業能力開発促進センター（ポリテクセンター北海道）は6月20日、令和2年度見習い大工研修会の初回講習を開催した。

今年度は4月から実施する予定だったが、新型コロナウイルスの影響で2ヵ月遅れのスタートとなった。

研修会には大平洋建業（札幌市）、三五工務店（同）、武部建設（岩見沢市）、エーステック（江別市）、丸三ホクシン建設

（石狩市）、キクザワ（恵庭市）の6社から若手大工12人が参加した。

参加した若手大工は働き始めてから数ヵ月から数年、様々なきっかけで

大工職人を志し、日々努力を重ねている。

同センターの担当者は「大工は家1棟を建てるすべてを知らなければならぬ。マニュアルだけでは技術を身につけてほしい」と話し、「将来、育成する側になったとき、この人の指導を受けたいと言われるような職人を目指してほしい」と参加者に呼びかけた。

研修ではカンナの構造や研ぎ方などを学んだ。同センターの指導員は「刃物のキレ、輝きに性

格が出る。特にカンナはいちばん繊細。工作機械には飽上りの美しさは出せない。その部分を体得してほしい」と話した。

研修会では、実際の建築現場で使用している材料や資材を使い、施工方法の概要説明を受けながら、現場で行われている仕事の内容を知り、道具の扱い方や木材加工、建て方、断熱気密、ボードの収め方などを取得して、2級技能士レベルの加工技術を身につけるのが目的。

研修会は（一社）JBN・全国工務店協会の大工育成プロジェクトの普及を進める（一社）北海道ビルダース協会（武部豊樹代表理事）から見習い大工育成のための研修会立ち上げの要望を受け、ポリテクセンター北海道が育成プログラムを開発した。



カンナの研ぎ方について指導を受ける若手大工たち

マニュアルだけではない技術を

JBNポリテク 見習い大工育成研修会

北海道職業能力開発促進センター（ポリテクセンター北海道）は6月20日、令和2年度見習い大工研修会の初回講習を開催した。

今年度は4月から実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で2カ月遅れのスタートとなった。

研修会には大平洋建業（札幌市）、三五工務店（同）、武部建設（岩見沢市）、エーステック（江別市）、丸三ホクシン建設

（石狩市）、ギクザワ（恵庭市）の6社から若手大工12人が参加した。

参加した若手大工は働き始めてから数カ月から数年、様々なきっかけで大工職人を志し、日々努力を重ねている。

同センターの担当者は「大工は家1棟を建てるすべてを知らなければならぬ。マニュアルだけでは技術を身につけてほしい」と話し、「将来、育成する側になったとき、この人の指導を受けたいと言われるような職人を目指してほしい」と参加者に呼びかけた。

研修ではカンナの構造や研ぎ方などを学んだ。同センターの指導員は「刃物のキレ、輝きに性

格が出る。特にカンナはいちばん繊細。工作機械には鈍仕上げの美しさは出せない。その部分を体得してほしい」と話した。

研修会では、実際の建築現場で使用している材料や資材を使い、施工方法の概要説明を受けながら、現場で行われている仕事の内容を知り、道具の扱い方や木材加工、建て方、断熱気密、ボンドの収め方などを取得して、2級技能士レベルの加工技術を身につけるのが目的。

研修会は（一社）JBN・全国工務店協会の大工育成プロジェクトの普及を進める（一社）北海道ビルダース協会（武部豊樹代表理事）から見習い大工育成のための研修会立ち上げの要望を受け、ポリテクセンター北海道が育成プログラムを開発した。



カンナの研ぎ方について指導を受ける若手大工たち